

陳 情 文 書 表

平 2 6 陳 情 第 1 0 号	平成 2 6 年 8 月 2 8 日 受 理
件 名	小児医療費助成を中学 3 年生まで拡大することを求める陳情
陳 情 者	秦野市北矢名 6 6 6 - 2 3 4 平和・民主・革新をめざす秦野市懇談会 事務局長 奥田 勲
陳 情 の 要 旨	
<p>日本の格差社会の中で、特に貧困が子供に与える影響が社会問題となっています。全国的には雇用制度、労働環境の変化などにより長年、所得が増えていません。特に若年層では、その状況が深刻です。</p> <p>私たち市民は、活気ある秦野市の「まちづくり」、「子育てしやすいまち」、「住んでよかった秦野」になることを願っています。</p> <p>現在、秦野市の通院に係る小児医療費助成は、小学 4 年生まで（1 歳から小学 4 年生まで所得制限有）となっていますが、東京 2 3 区では、平成 2 0 年度までにすべての区で中学 3 年生まで拡大しています。中でも千代田区は、平成 2 3 年 4 月に高校生等医療費助成制度を創設し、1 8 歳に達した日以後の最初の 3 月 3 1 日までを助成範囲としています。また、近隣市町村では、厚木市、海老名市、大和市、中井町、箱根町、清川村などが既に中学 3 年生まで通院に係る助成を拡大しています。</p> <p>「子育てしやすいまち」として、市民、特に子育て世代の方々にとっては、小児医療費助成の拡大は切実な願いです。「秦野市は小学 4 年生まで無料」と知り、その結果、住居を海老名市にした方もいるとのことでした。</p> <p>また、「まちづくり」の観点からも、子育て世代を呼び込み、就労人口が増えることにより、活気あるまちとなり、税収の増加にもつながり、市民サービスの充実も図れるのではないのでしょうか。</p> <p>これらのことから、市民、特に子育て中の親たちからの要望が強い、通院に係る小児医療費助成を中学 3 年生まで拡大することについて、是非実現してください。</p> <p>陳情事項</p> <p>1 通院に係る小児医療費助成を中学 3 年生まで拡大すること。</p>	

